

平成 21 年度 大学院 「生命と生活の質 QOL 特論」 授業予定

回	月日	時限	担当	テーマ	講義内容
1	5月9日	9:00-10:30	志村	生命・生活の質とは？	Quality of life の概念規定をめぐって。
2		10:40-12:10		〈生〉をめぐる人権のゆらぎ	胎児の人権、障害者の生きる権利と女性の産む権利について。
3	5月16日	9:00-10:30		〈死〉をめぐる人権のゆらぎ	尊厳死や自殺補助の問題を通じて死の自己決定権を考察する。
4		10:40-12:10		〈生〉〈老〉〈障〉〈病〉〈死〉とライフ・コース	現代社会で生起する生老病障死と現代人のライフ・コースの関係を考察する。
5	5月23日	9:00-10:30	安溪	自然と共存できる暮らし ～アフリカの森の村に住んで	地球人の暮らしを紹介 まずアフリカの森の村から。人間は環境を破壊して生きるしかないというのは大変な思いこみだった。
6		10:40-12:10		万物にカミがやどる ～屋久島で学ぶ人間らしさ	「十五夜のお月様、ありがとうございます。欲ではありますが、来年も拝ませてください」…万物に神がやどるといふ、アニミズムの力で人間中心思想を越える。
7	5月30日	9:00-10:30		金をかけずにくつろいで暮らす ～スペイン・ナバラ州人々	持続可能性を中心に据える政府と、ゆったりした暮らしを送る庶民。山口の姉妹州に5か月滞在してみえてきたことなど。
8		10:40-12:10		足下から平和をつくる ～いま「越境」のすすめ	済州島と西表島の交流の物語。国境や文化や専門の壁を越えた交流が実現するとき、忘れかけていた力や希望がわいてくる。
9	6月13日	9:00-10:30	市村	生命の持続と環境とのかかわりを考える	生命の存続を支えるからだの関門構造と環境中の化学物質とのかかわりについて調べた研究の実例を示し、生命の存続を損なうものとは何かを考える。
10		10:40-12:10		健康関連QOL(HR-QOL)を考える	身体的、精神的、社会的安寧感としての健康の視点から、健康関連 QOL の歴史、背景、概念、定義、測定について考え、測定ツール SF-36 の構成を調べる。
11	6月20日	9:00-10:30		HR-QOLを測り、数値化する	SF-36 を使った自己の回答を数値化する方法を体験する。国民標準値を基準モデルとして、集団データの統計処理、標準値比較の実際を学ぶ。
12		10:40-12:10		自分自身のHR-QOLを分析する	2007, 2008 年度院生の QOL 評価データと比較して、個人の QOL 評価結果を分析する。
13	6月27日	9:00-10:30	志村 安溪 市村	課題発表とディベート	グループディスカッション
14		10:40-12:10			1) 〈生〉〈老〉〈障〉〈病〉〈死〉と現代人の生活 2) 日本人の暮らしに未来はあるか
15		13:00-14:30			3) QOL評価をどう活かすか？